

令和6年度第1回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所			令和6年6月16日(水曜日)林野庁入札室		
委員			佐々木 直 彦(公認会計士、税理士) 鈴木 健 二(弁護士) 井上 大輔(公認会計士、税理士)		
審議対象期間			令和5年10月1日～令和6年3月31日		
審議対象案件			19件	うち、1者応札案件 7件	契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
抽出案件			5件 (抽出率 26%)	うち、1者応札案件 1件 (抽出率 14%)	契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件 (抽出率 ー %)
抽出案件内訳	工事	一般競争	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件	契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
		指名競争	公募型指名競争	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
			工事希望型競争	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
			その他の指名競争	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
		随意契約		ー 件	うち、1者応札案件 ー 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
	業務	一般競争	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件	契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
		指名競争	公募型競争	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
			簡易公募型競争	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
			その他の指名競争	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
		随意契約	公募型プロポーザル	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
			簡易公募型プロポーザル	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
			標準型プロポーザル	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
			その他の随意契約	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
	物品・役務等	一般競争	4件	うち、1者応札案件 1件	契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
		指名競争	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件	契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
		随意契約(企画競争・公募)	1件	うち、1者応札案件 ー 件	契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
		随意契約(その他)	ー 件	うち、1者応札案件 ー 件	契約の相手方が公益社団法人等の案件 ー 件
	(特記事項) ・抽出の5件については、落札率の高かった契約等を抽出した。				
委員からの意見・質問、それに対する回答等			意見・質問 (詳細に記述すること。)		回答等 (詳細に記述すること。)
			(別紙のとおり)		(別紙のとおり)
委員会による意見の具申又は勧告の内容			該当なし		
[これらに対し部局長が講じた措置]					

事務局: 林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	抽出契約について 〔抽出番号 1 : 令和 5 年度国有林 野地理情報高度化システム改修 業務〕 ・落札率が低いようですが一番の原因 はどの辺にあるとお考えですか。 ・予定価格が高すぎたってことはない ですか。令和 6 年度も同様な業務を発 注する予定ですか。 ・メニュー開発後、改修っていうくら いですから本システムがあると思ひ ますが、本システムが 2021 年度に構 築運用と資料にありまして、それを開 発した業者さんがいると思いますが、 それは今回入札に参加した業者さん か別のところですか。	・今回落札された事業者は同種業務 の実績を有しており、官公庁の他の システム改修等を受注されていて 豊富な経験から必要工数が林野庁 の予定価格の積算よりも低く見積 られたのが原因と思っています。内 訳の分析をしますと予定価格の一 番大きく占めていた設計開発テス トが 70%弱を占めていて、落札事業 者の価格の内訳を見ると設計開発 テストの額が全体の 30%とかなり 低くなっているが、我々が見込んで いたよりも低く効率良くできる考 えで見積もられたことと分析して います。 ・積算の偏りもなく、GIS に知見の ある事業者と取ったことのない業 者さんに依頼したので偏りはない と思って作っています。引き続き改 修業務は発注予定です。 今後の出し方として、こういった 内容で改修するか精査している段 階で、その内容や予算との兼ね合い もあり、予定価格の参考資料を作成 する際に見積り依頼をどの業者に お願いするか、内容によって変わっ てきます。 ・改修する前の元のシステムは今も 使用していますが、平成 16 年から 使用しておりまして、本システムを 開発した会社さんは、部署が解散し てしまって会社はあるが作った部 署がない状態です。

〔抽出番号 2 : 森林管理局署等職員に供用する制服等の調達 1 号
物件 : 森林官制服 (男性用上衣 75 着) ほか 6 品目の製造〕

・男性用上衣 75 着、ズボン 68 着、ネクタイ 49 着とありますが、セットで作ってないようですが、この数はどうのように算定されていますか。

・森林官制服にネクタイがあつて、世の中的にはだいぶしてないと思いますが実際の利用率とといいますか、そもそも使われていますか。

・今回、落札率が 100%に近いのは最近の傾向としてこんな感じですか。業者が一定しているからですか。

〔抽出番号 3 : 令和 5 年度国有林における ICT 等先端技術ツール整備等事業〕

・落札率が非常に高く入札が 1 者のようですが、思い当たる要因はありますか。

・森林官制服の貸与期間は 3 年と決まっており、このなかで使用に耐えるものは貸与期間を延長することができます。貸与されている本人の意向もあるので数量に差がでております。

・実態までは把握していませんが、通常の業務服は現場向けである一方、森林官制服は地域のイベント出席時にも着用する正装的な位置付けになっていることから、ネクタイもセットになっています。

・ヒアリングはしていないので想像になりますが、ここ数年は、物価上昇や賃金の上昇の影響もあつてか落札率は高くなっており、結果昨年度は 99.9%だったと感じています。

・調達しているソフトウェアがホームページに決まった単価が載っておりまして、PC 自体も仕様書の後ろに要件提示別紙 3 として付けておりますがスペックも固定されておりまして、ある程度の金額規模が把握しやすかったのではないかと、思ったところです。

・1 者応札を何とかしようという動きは考えてないですか。

・毎年度やっていることではあります、改めて仕様書にも昨年はこういったものを整備しています、といった内容を閲覧の時に説明ができるようにはしていますし、そこをわかりやすいように、前年度の成果品でも対応できるとことが見えるようにしていきたい。

・今回、P Cは3 台ですがソフトウェアが7 台、地図データが8、数が合わないですが、パソコンは変えないけどFRB のインストールだけやったりするのでしょうか。

・基本的にデスクトップのスタンドアロンにインストールしていく形です。過年度までに先行してP Cだけを納入している森林管理署等もありまして、そこに後でソフトウェアを入れたりしています。

〔抽出番号4 : 令和5 年度流域山地災害等対策調査(保安林適正管理手法調査) 委託事業〕

・入札執行調書を見ますと一番安くやっていただける業者さんに決まったようですが、技術点が一番低いのは業務としては問題なかったのか。

・仕様書の内容は満たして完了しており、そこは大丈夫です。ただ、提案内容としては他の2 者はもっとこういうことができます、という提案はいただいていたので、その部分では2 者の点数が高くなっています。

・今回、他の業者さんと比べてかなり低めの金額を出されているようですが、思い当たることはありますか。

・昨年、資料提供の招請をしまして、その時に説明会も行いました。入札に参加した3 者のうち他の2 者は説明会に参加し提案書を出しています。我々はその2 者の提案書をベースに今回の入札の予定価格を組んだ、というところです。契約相手方は説明会に来ていませんでした。

・今回の調査、検証結果はどんな生かされ方をするんですか。

・次の衛星を選ぶにあたって注意すべき点が整理できたので、検証結果を基に次回の仕様を絞ることがで

〔抽出番号5：令和5年度国土
保全のためのシカ捕獲事業（効
率的なシカ捕獲方法の普及に向
けたナッジ手法の検証）〕

・今回、企画競争になった理由として
高度な分析を行う能力が求められて
いる、とありますが、

高度な分析というのはアンケート
結果の分析が高度なのか、アンケート
の取り方が特殊な手法なのか、どちら
になりますか。

・次の展開として、この資材をこう
直した方がいいんじゃないかとか、
こういうところに置いたらいいと
か、具体的なアドバイスはあったの
か。

・地形を選ばないメリットがあるの
で林野庁としてはこれを勧めたいの
ですか。

その他

・委員会としての意見はなし。

きると考えています。

・小林式誘引捕獲法の普及拡大に
向け、開発した資材の効果の検証
等を行うためには、シカの捕獲に
関する知識はもとより、その分析
の結果、実際に効果があったの
か、今後、どのような方針をたて
ていけば普及拡大に繋がるのか等
の分析と提案を行っていただく必
要がありました。

・アンケート結果を成果物として
受け取っており、その結果を踏ま
えて今後どのようにしたら良い
か、考察もなされております。

・比較的シカ捕獲に従事して間も
ない者でも取り入れやすい、広く
普及させる方法として向いている
と考えています。

令和6年度 第1回林野庁入札等監視委員会

審 議 資 料

資料1 令和5年度第3・第4四半期の契約締結状況について

- ・ 契約担当部署別・契約方式別契約一覧（総括表）

資料2 抽出契約について

（1）抽出契約の一覧表

（2）抽出契約に係る個別説明資料

物品役務関係

- ・ 抽出1 「令和5年度国有林野地理情報高度化システム改修業務」
- ・ 抽出2 「森林管理局署等職員に供用する制服等の調達」（1号物件：森林官制服（男性用上衣75着）ほか6品目の製造）
- ・ 抽出3 「令和5年度国有林における ICT 等先端技術ツール整備等事業」
- ・ 抽出4 「令和5年度流域山地災害等対策調査（保安林適正管理手法調査）委託事業」
- ・ 抽出5 「令和5年度国土保全のためのシカ捕獲事業（効率的なシカ捕獲方法の普及に向けたナッジ手法の検証）」

令和 5 年度第 3 ・ 第 4 四半期の契約締結状況について

契約担当部署別・契約方式別契約一覧（総括表）

（対象：令和５年度第３・第４四半期分）

（単位：件、円）

契約方式		工事関係		物品・役務等関係		合 計	
		一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約
契約担当部署 林野庁本庁	件数			16	2	16	2
		金額		130,976,373	7,486,435	130,976,373	7,486,435
	一般会計	件数		15	2	15	2
		金額		128,336,373	7,486,435	128,336,373	7,486,435
	東日本大震災復興特別会計	件数		1		1	
		金額		2,640,000		2,640,000	
		件数					
		金額					
	森林技術総合研修所 （一般会計）	件数		1		1	
		金額		485,540		485,540	
合 計	件数			17	2	17	2
	金額			131,461,913	7,486,435	131,461,913	7,486,435

注 少額随意契約は含まない。

抽 出 契 約 に つ い て

抽 出 契 約 の 一 覧 表（令和５年度第３・第４四半期分）

（一般競争契約）			（企画競争：随意契約）		
抽出番号	1	2	3	4	5
契約担当部署	経営企画課 （一般会計）	管理課 （一般会計）	経営企画課 （一般会計）	治山課 （一般会計）	経営企画課 （一般会計）
契約名	令和５年度国有林野地理情報高度化システム改修業務	森林管理局署等職員に供用する制服等の調達 １号物件：森林官制服 （男性用上衣75着）ほか６品目の製造	令和５年度国有林におけるICT等先端技術ツール整備等事業	令和５年度流域山地災害等対策調査（保安林適正管理手法調査）委託事業	令和５年度国土保全のためのシカ捕獲事業（効率的なシカ捕獲方法の普及に向けたナッジ手法の検証）
契約内容の概要	林野庁においては、地理情報システム（以下「GIS」という。）である「国有林野地理情報システム」により、国有林に関するデジタル化した地図情報（数値基本図等。以下「地図データ」という。）と「国有林野情報管理システム」が有する国有林台帳情報（森林調査簿、伐採造林計画簿等。以下「台帳データ」という。）を連携させ、効率的な業務運営に活用している。しかしながら、現行の国有林野地理情報システムはスタンドアロン式のため、職員間での情報共有や、地図情報更新の効率化等が課題となっている。そこで、2020年（令和２年）度より、民間クラウドサービスを活用したネットワーク型のウェブGISである国有林野地理情報高度化システム（以下「本システム」という。）の構築に着手し、地図情報の共有の円滑化や、地図情報更新の効率化を図っている。なお、職員は、ガバメントソリューションサービス（GSS）又は農林水産省統合ネットワークを経由し、本システムにアクセスする。2022年（令和４年）度から、本システムは、年間を通じたシステムの運用・保守業務と、システムの改修を行う業務を分割発注するものとし、本調達は、後者の改修を行う業務となる。本調達においては、本システムの本格的な利用に向けた機能の開発及び運用上の課題の解消を目的として、システムの改修を行う。	森林官に貸与する ・森林官制服（男性用上着） 75着 ・森林官制服（女性用上着） 7 着 ・森林官制服（男性用ズボン） 68着 ・森林官制服（女性用ズボン） 5 着 ・森林官制服（男性用ネクタイ） 49本 ・森林官制服（女性用ネクタイ） 7本 ・森林官帽子 98個 の調達を行う。	国有林野職員が最新のICT等先端技術ツールを活用した路網設計技術を習得するため、路網設計支援ソフトウェアを調達し、同ソフトウェアを円滑に操作可能なスペックを有するパーソナルコンピュータを森林管理局・署に配備する。また、国有林野事業職員の技術力向上のため講習会を実施する。 ・路網設計支援ソフトウェア、パーソナルコンピュータの調達及び地図データ等の整備 ・研修の実施	衛星画像を活用した保安林の管理に関して、高解像度の衛星画像を用いた解析手法等を検証 １ 高解像度のカラーオルソ画像データの作成 ２ 画像データの比較による森林や土地利用の変化の抽出・分析	効率的なシカ捕獲方法（小林式誘引捕獲法）の普及を目的として、ナッジ手法（行動科学の知見に基づく工夫や仕組みによって、対象者がより望ましい行動を自発的に選択するよう促す手法）により開発した介入資材（ポスター・リーフレット及び動画）を用いることで、捕獲実施者に意識変容及び行動変容がみられたのかアンケート調査を行い、効果の検証等を行うもの。
契約相手先	株式会社フォーカスシステムズ	新成物産株式会社	ASロカス株式会社	グリーン航業株式会社	株式会社野生鳥獣対策連携センター
予定価格	—	—	—	—	—
契約金額	26,235,000	2,022,625	13,992,000	1,155,000	2,494,800
落札率	—	—	—	—	—
契約方式	一般競争契約	一般競争契約	一般競争契約	一般競争契約 （総合評価）	随意契約 （企画競争）
応募者等の数	2	2	1	3	2
契約年月日	令和5年10月16日	令和5年11月8日	令和5年11月8日	令和6年2月9日	令和6年1月10日
履行期限	令和6年3月22日	令和6年2月15日	令和6年3月15日	令和6年3月22日	令和6年3月15日
再就職の役員の数	—	—	—	3	—
備 考					